

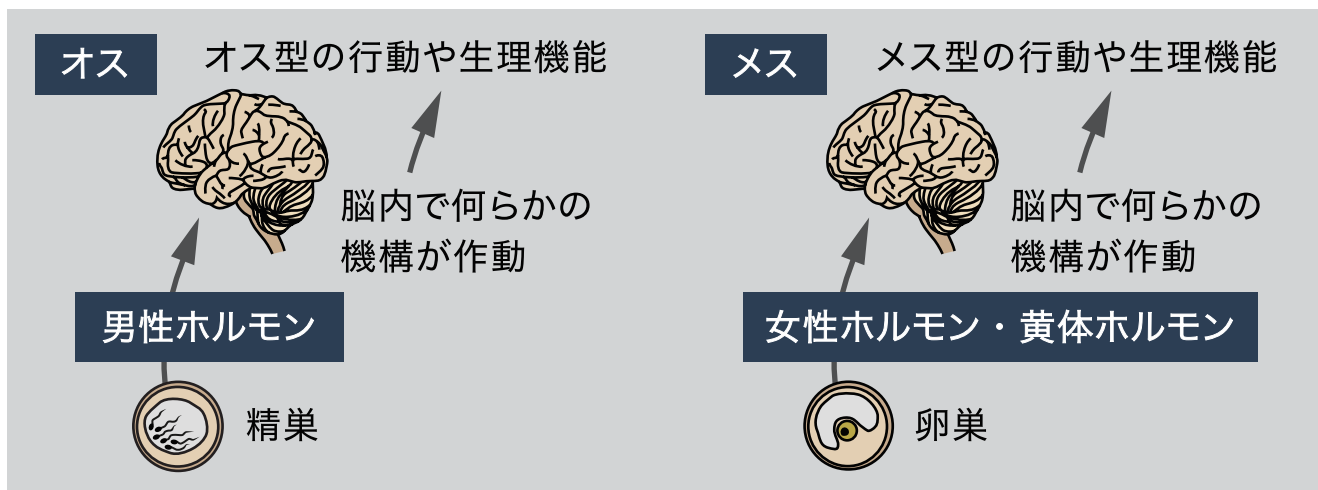
大久保 範聡 教授

水圏生物科学専攻 水族生理学研究室

どの動物種でも、多くのオスはメスを配偶相手に選び、逆に多くのメスはオスを配偶相手に選びます。そして通常、求愛はオスが行い、メスから求愛することは稀です。また、メスよりもオスの方が一般に高い攻撃性を示し、オスは縄張りやメスを巡って頻繁にケンカします。



脊椎動物では、このような雌雄の違いは、精巣や卵巣から放出される性ステロイドホルモン（男性ホルモンや女性ホルモンなど）が脳に作用することで生み出されると考えられています。しかし、性ステロイドホルモンが脳内でどのような機構を作動させることで、それぞれの行動や生理機能に雌雄の違いが生み出されているのかは明らかになっていません。



私たちの研究グループでは、脊椎動物の中でも特に脳が性ステロイドホルモンの作用を受けやすい魚類（メダカ）を使って、性ステロイドホルモン依存的に行動や生理機能に雌雄の違いを生み出す脳内メカニズムの解析を進めています。

